

## 新商品開発を支援

盛岡市民に愛され創業70余年、秘伝の味を武器とする老舗とんかつレストラン「むら八」（有限会社村幸）では、岩手の自然の恵を活かし、その風土に育まれた四季折々の食材を使った「新たないわての味わい」を全国に紹介するため、昨年11月より地元生産者と連携した新メニュー（ギフト商品）開発の検討を開始。開発を担当した村上雅俊取締役は、構想の実行に当たり本会の地域力連携拠点事業への支援を要請。本会では、顧客に焦点を当てた商品とすべく、アイデアや構想の検証及びその具体化並びに新商品開発を核とした事業スケジュールの策定など、ステップを踏んだ慎重な開発計画の推進を支援した。

本年度は『地域資源を存分に活用した「いわて美味(うま)肉粕漬けシリーズの開発」と「岩手発四季折々の味わい全国展開(販売)」』をテーマとし、いわて希望ファンド補助事業の実施を申請、計画の内容が認められ事業採択を受けたことから本格的な開発に着手した。

顧客満足向上のため「食の安全・安心・美味しさ」を追求する姿勢を基本に、レストランの良さの1つである「お客様との密着度の高さ」を最大限に活かし、数回にわたる試食会を開催、顧客ニーズを掘下げ、味の完成度と品質の向上に努めてきた。

新商品は、県内企業や生産者との連携協力による本県知名度の向上も狙いとしており、肉は二戸市の久慈ファームの生産するブランド豚「折爪三元豚・佐助」を使用、豚肉を漬け込むソースには、紫波町の吾妻嶺酒造店の濃厚な酒粕をベースとするなど、地元食材の良さを最大限に引き出し、岩手の風土と食感を味わえる商品を目指した。その後、パッケージデザインの検討等を経て、10月12日、むら八上田店を会場に、本会を始めとする開発関係者やマスコミを招き「新商品試食発表会」を開催。

試食の感想は「佐助豚の柔らかく甘い味わいと桑茶漬けのさっぱり感が上手くブレンドされ上品な味になっている。」「冷めても風味や柔らかさが損なわれない」等々、驚きを隠せない参加者も多く、大盛況なお披露目となった。この大きな成果に長期に亘る取り組みの労苦も報われ、関係者・スタッフとも大いに喜び溢れた。

新商品第1弾として「桑茶漬けも楽しめるやわらかポークみそ粕漬」「同まいたけ粕漬」の2品種の販売を開始。みそ粕漬けを定番とし、まいたけ（秋）、チーズ（冬）、ふきのとう（春）、わさび（夏）と組み合わせるなど四季感を演出する商品の販売も計画している。また、新ブランド「もりおかむら八自然食房」として、ギフト市場にも本格参入し11月から全国に販売する予定であり、引き続き支援していく予定である。



むら八上田店での新商品発表会の様子



完成した「やわらかポークみそ粕漬」



新商品のパッケージデザイン

★支援事業に関する問い合わせは  
本会統括指導センター

Tel: 019-624-1363 まで。

★新商品に関するお問い合わせは  
とんかつむら八上田店(有村幸)

Tel: 019-652-5108 まで。

## 成功店モデル創出事業の報告会を釜石・宮古で開催

本会では今年度、釜石市及び宮古市より委託を受け「成功店モデル創出波及事業」（通称：ウルトラD釜石・宮古）を実施している。この事業は、釜石・宮古の中心市街地の商業者3店舗に対し、3ヶ月間に亘り販売やマーケティングの専門家を活用したコンサルティング指導を実施、期間中の売上・客数等の向上にチャレンジする事業である。釜石においては9月に、宮古においては10月にそれぞれ指導事業が終了し、成果報告会を開催、取り組み内容・成果の発表が行われた。以下に事業の概要を紹介する。

### 釜石市の成功店モデル創出波及事業

成果報告会を9月17日、釜石市内ホテルで開催。

第1部のパネルディスカッションでは、本事業に参加した釜石市内の3店舗から、取組内容を発表。参加した飲食店からは、携帯メールマガジン会員募集での表示の工夫やお客様への徹底した声掛けにより会員数が大幅増加したことなどについて発表があった。次いで貴金属宝石店からは、店舗をプチリニューアルすることにより、自店の隠れていたブランドが全面に打ち出された取り組みについて、また婦人衣料専門店からは、着なくなった洋服を自店で使える商品券で買い取り、その洋服を社会福祉団体に寄付する取り組みを地域の新聞やケーブルテレビなどを活用して情報発信した内容などについて発表があった。

第2部の基調講演では、本事業のコンサルタントで中小企業診断士の高橋幸司氏より、日本酒の提供温度にこだわり売上を伸ばした飲食店の事例などの紹介があり、商売においては奇策をねらうのではなく「丁寧」な行動が大事であると強調した。



専門家：高橋幸司氏



パネルディスカッションの様子



成果報告会 第二部の基調講演の様子

### 宮古市の成功店モデル創出波及事業

成果報告会を10月15日、宮古市内ホテルで開催。店づくりのポイントとして「お客さまの気持ちに応える“丁寧”な行動」を前提に取り組み、婦人服・呉服販売店は「休眠客への直筆の絵手紙による再来店促進」、カメラ店は「恒例イベントに併せたお奨め商品の提案」、生花店は「店頭・店内ディスプレイ改善による入店促進」などの取り組みを丁寧に行い、いずれも3ヶ月平均で前年を上回る売上実績を残した。報告会では、宮古市3店舗による取り組み発表に加え、釜石市にて高橋氏の指導をうけた2店にも事例発表をいただき、終了後の情報交換会では地域を越えた商業者間の親睦を深める機会となった。

本会が事務局を預かる岩手県商店街振興組合連合会が平成20年度に同様の事業を宮古市において実施し、昨年と今年は宮古市の事業として引き続き中央会が委託を受け、これまでに宮古市内では計9店舗の“ウルトラD卒業生”を輩出している。

本件に関する問い合わせは、連携支援部(釜石D)・統括指導センター(宮古D) TEL：019-624-1363 まで。



## 企業と新卒者の橋渡し支援事業「就職応援プロジェクト」拡充

本会では今年度「新卒者就職応援プロジェクト」を実施、平成22年3月に大学等を卒業する予定者であって就職先が未内定の者を対象に、中小企業の生産現場等に触れる機会を付与するとともに、中小企業で働く上で必要とされる技能・技術・ノウハウ等を習得してもらうための長期間の職場体験（インターンシップ）等を実施するなど、中小企業の人材確保支援を目的とした事業を展開している。

実施にあたっては、採用意欲の高い地元の中小企業が技能・技術・ノウハウ等の職場実習の場を提供、平成22年3月卒業で就職未内定者の地元企業への就職促進の他、元気な企業とやる気ある人材との出会いの促進等を効率的に行うため、窓口機関として「受入コーディネート機関」5機関を公募により選定、各所で職場体験等を展開している。

この度「新成長戦略実現に向けた3段階の経済対策」が9月10日に閣議決定され、本事業の平成24年1月31日までの延長等が決定した。本稿では拡充された同事業の概要について紹介する。

### 新規コーディネート機関の公募等

1. 公募要件： ①法律に基づく中小企業組合（商店街振興組合を含む。）、②商工会、商工会議所、③中小企業支援法に基づき特定支援事業を行わせるため都道府県知事が指定した法人、④効果的かつ円滑な事業実施が可能として都道府県の推薦がある団体
2. 公募内容： 新規コーディネート実施機関 3団体以内
3. 委託期間： 平成22年11月～平成24年1月末日
4. 主な要件： 事務局体制内に管理職などの職員、最低1名以上  
職場実習等の実施件数が10件以上行われる見込みが確実であること



今年度の座学実習の様子

### 対象となる実習生の概要等

実習対象者は、平成19年9月以降に学校を卒業（平成23年3月卒業見込みも含む）した就職未内定者とする。

1. 実習生とは、中小企業の生産現場等に触れながら、中小企業で働く上で必要とされる技能・技術・ノウハウ等を習得することを目指す就職未内定者をいい、アルバイト等短期労働を目的とする者は除く。
2. 学校とは、学校教育法に基づく高等学校、大学（大学院及び短期大学を含む。）、高等専門学校、専修学校、専門学校とする。

### 実習実施の期間と助成金

職場実習等の実施期間は、原則6ヶ月。事前に作成したカリキュラム等に即して実施する。実施期間中は実習生・受入れ企業双方に次の助成金が支給される。

1. 実習生： 技能習得支援助成金（日額7,000円）
2. 受入企業： 教育訓練費助成金（日額3,500円）

### 事業成果の目標と予算額

1. 成果目標は、職場体験等終了後の中小企業への就職率が3割以上
2. 事業の予算額（委託額）は、原則として1事業者あたり300万円上限（消費税及び地方消費税込み）。

本件に関する問い合わせ先は、統括指導センター TEL：019-624-1363 まで。

## 新成長戦略実現に向けた経済対策の概要

9月10日、新成長戦略実現に向けた3段階の経済対策が閣議決定された。この経済対策は、緊急的な対応（ステップ1）に続き、今後の景気・雇用動向を踏まえた機動的対応（ステップ2）、平成23年度における新成長戦略の本格実施（ステップ3）により、時間軸を考慮した「3段階」の政策展開を行い、デフレ脱却と景気の自律的回復を目指すものである。本稿では、同対策の概要のうち、10月8日に閣議決定されたステップ2の具体策のポイントについて紹介する。

### 今対策のポイント

#### ★ 雇用を機軸とした経済成長

雇用拡大により所得の増 → 消費の刺激 → 経済活性化という好循環実現のため雇用基盤づくりに重点を置く。特に新卒者対策、海外販路開拓等を拡充。

#### ★ 中小企業金融対策

政府系金融機関及び商工団体、関係省庁に特別相談窓口を設置、資金繰りや経営相談に応ずるとともに、デフレに伴う実質金利高に対応するための金利引下げ（▲0.5%）を今年度下半期も実施。

### 施策の概要

#### 1. 中小企業対策

##### （1）資金繰り対策

日本政策金融公庫等の財務基盤強化、借換保証の拡充、セーフティネット保証や小口零細保証等の対策重点化、借換の促進を含めた直接貸付の充実等。建設業に対する下請け債権保全等の支援強化。

##### （2）技術開発及び海外展開支援

中小企業をはじめとする産学官連携による技術開発への支援。海外展示会への出展支援拡充、地域中小企業の海外展開を促進。

##### （3）新規事業活動への支援

農商工連携等の異分野中小企業の連携、地域資源活用の新規事業への支援、起業・転業に要する資金の融資・保証の充実、中小企業応援センターでの相談機能強化。地域の建設業のエコ・耐震改修等の成長分野での市場開拓や中小トラック事業者等の環境対応等を支援。

##### （4）地域商業の活性化

地域商店街等が行うデジタルコンテンツ活用等による集客力向上、空き店舗対策、買い物弱者への対応等を支援。

#### 2. 雇用・人材対策

##### （1）新卒者・若年者支援の強化

新卒者就職実現プロジェクトの拡充、ジョブカフェにおける中小企業等向けの求人開拓の一層の促進、中小企業等の魅力を発信する事業の強化。

##### （2）雇用調整助成金の要件緩和

急激な円高を受け、直近3ヶ月の生産量が3年前の同時期に比べ15%以上減少している赤字企業も対象とする要件緩和の実施。

その他、環境・エネルギー対策、子育て、医療・介護・福祉等の強化に関する支援項目については割愛。

上記の詳細は、経済産業省のホームページ (<http://www.meti.go.jp/topic/data/100910strategy.html>) を参照。

## 大畠経済産業大臣に対する要望を実施 ～全国中央会～

全国中央会では、10月7日、日本商工会議所、全国商工会連合会、全国商店街振興組合連合会とともに、「経済産業大臣と中小企業関係団体との懇談会」を、ホテルニューオータニ（東京都千代田区紀尾井町）において開催した。同懇談会では、大畠章宏経済産業大臣に対して各団体代表者が要望を行い、全国中央会からは鶴田欣也会長より、以下の7項目からなる要望を提出した。同懇談会には大畠経済産業大臣をはじめ、池田元久経済産業副大臣、松下忠洋経済産業副大臣、中山義活経済産業大臣政務官、高原一郎中小企業庁長官他が出席、中小企業関係4団体からは、全国中央会から鶴田会長（愛知県中央会会長）、岡本檜雄副会長（大阪府中央会会長）、幡谷祐一副会長（茨城県中央会会長）他が、日本商工会議所からは岡村正会頭、佐藤茂雄副会頭他が、全国商工会連合会からは石澤義文会長、大久保義海副会長他が、全国商店街振興組合連合会からは桑島俊彦理事長、鯉江盈副理事長他が出席、要望内容の説明を行い国側への理解を促した。



経済産業大臣等に要望内容を説明する鶴田全中会長

- (1) 円高、デフレ脱却と新成長戦略実現に向けた経済対策の着実な実行
- (2) 中小企業憲章を踏まえた中小企業対策の充実強化
- (3) 中小企業連携組織対策の強化
- (4) 中小企業に配慮した雇用対策の推進、中小企業の人材確保、育成支援の強化
- (5) 資金繰り対策等中小企業金融の拡充
- (6) 中小企業関係税制の充実、中小企業会計の新たな策定
- (7) 下請取引適正化、官公需適格組合をはじめ中小企業の受注機会の拡大

## 連携促進懇談会開催のお知らせ

中央会では、毎年11月を『連携組織強化月間』と定め、連携組織の積極的な活用とその強化及び中小企業の経営の安定を図るため、各都道府県中央会において全国的なキャンペーンのもと懇談会を開催している。

本年度の懇談会は、県内5つの広域地区で開催、広域振興局、市町村、商工会議所、商工会等の関係機関の関係者が出席する予定。本会の支援事業の概要及び新規事業提案等について出席者へ説明するとともに、各地域での地域資源の活用、農商工連携、地域活性化のための取り組み、各地域の中小企業等の動向や新たな事業への取り組み、企業間連携の現状や活動状況などについて情報交換を行う。開催予定は下記のとおり。

| 開催日       | 開催地区          | 開催場所                  |
|-----------|---------------|-----------------------|
| 11月12日(金) | 宮古・釜石・大船渡広域地区 | (釜石市) 釜石・大槌地域産業育成センター |
| 11月15日(月) | 花巻・北上・遠野広域地区  | (花巻市) なはんプラザ          |
| 11月17日(水) | 胆江・両盤広域地区     | (平泉町) 平泉文化遺産センター      |
| 11月19日(金) | 盛岡広域地区        | (盛岡市) 岩手県水産会館         |
| 11月25日(木) | 久慈・二戸広域地区     | (久慈市) アンバーホール         |

本件に関する問い合わせは、本会連携支援部 TEL: 019-624-1363 まで。



## ふるさと食品コンクール表彰式開催される

今年の「岩手県ふるさと食品コンクール」の表彰式は、9月28日、岩手県工業技術センターを会場に行われた。このコンクールは、本県産の農林水産物の特徴を生かした加工食品の開発を促し、地域の食品産業の発展及び農業者等が取組む農林水産物加工の振興を狙いとして、昭和62年度から毎年度開催、今年で24回目を迎える。

今回も多数の出展応募があり、審査の結果、東北農政局長賞（最優秀賞）をはじめ10点が入賞、うち本会が事務局を預かるいわて食料産業クラスター協議会の「会長賞」（優良賞）では、6名の受賞者に対し本会平澤専務理事から表彰状が授与された。なお、受賞した作品は以下のとおり。

### 最優秀賞（東北農政局長賞）

商品名：天然ほや燻製

出品者：種市ふるさと物産館

〒028-7914 九戸郡洋野町種市 22-133-1

TEL：0194-65-2981



最優秀賞の「天然ほや燻製」



浅沼醤油店の「秘伝醤油」

### 優秀賞（いわて農林水産振興協議会会長賞）

#### 【食品企業部門】

商品名：秘伝醤油

出品者：株式会社浅沼醤油店

〒020-0871 盛岡市中ノ橋通一丁目 8-2

TEL：019-622-2580

#### 【個人・加工グループ部門】

商品名：いわての桑物語シリーズ

出品者：いわいの里ふるさとづくり研究会

連絡先 佐藤公一氏 TEL：090-7329-5725



パッケージの意匠にも一工夫



高校生手作りのロースハム

#### 【高等学校部門】

商品名：手作り花巻ロースハム

出品者：岩手県立花巻農業高等学校

〒025-0004 花巻市葛第 1-68 TEL：0198-26-3131

### 優良賞（いわて食料産業クラスター協議会会長賞）

#### 【食品企業部門】

商品名：奥中山高原カシスドレッシング 出品者：(有)萬博堂

商品名：さけるチーズ 出品者：(社)葛巻町畜産開発公社

#### 【個人・加工グループ部門】

商品名：みそクッキー 出品者：大洋会 星雲工房

商品名：刻み大根のしょう油漬 出品者：漬もの処きら里

#### 【高等学校部門】

商品名：イカ短バグ 出品者：岩手県立久慈東高等学校

商品名：桑プリン 出品者：岩手県立千厩高等学校



クラスター協議会長表彰状を授与する本会平澤専務理事

### 中央会さん、出番ですよ ～最近の支援事例～

現在、中央会では、地元産の原料や資材を活用して新しい商品の開発等を行う企業や、新たな分野への事業転換等を図る組合等を支援している。今回は、本会の支援事例の中から、北上市の「協同組合北上エルピーガスセンター」と陸前高田市の「高田松原商業開発協同組合」の取り組みへの支援について紹介する。

#### 【環境保護を促進する経営の革新】

(経営革新支援事業にて支援)

北上市の「協同組合北上エルピーガスセンター」は、エネルギー供給や快適な生活をサポートする社会インフラの役目を担うことを目的に、昭和57年に設立、北上市の家庭や事業所を対象に、LPガス・灯油・工事などの多岐にわたるサービスをきめ細かい対応により提供してきたことで、厚い信頼と満足を寄せられている。

エネルギー業界では近年、化石燃料の枯渇や資源や環境を守るため様々な対応が迫られる状況にある。当組合では、限られた資源の有効活用



環境対応の重要性を説く 館邦雄理事長

やCO2削減等の環境保全推進に機敏に対応するため、経営革新に取り組む必要があると強く認識、経営革新のテーマ設定から計画作り、申請に至る一連の流れについて本会へ支援要請があった。

テーマは「新たなエネルギー利用システムの提案」「顧客のさらなる安全・安心を確保し低コスト供給を実現する新たな仕組みの整備」に設定。計画の先進性や新規性が認められ、この度、経営革新計画の承認を受けた。

具体的には、①新エネルギー分野における新たな商品（燃料電池、省エネハイブリット給湯器）のラインナップ充実と提案、②安全・高効率な新ガス供給体制の確立および配送効率の向上とコスト削減、などである。これらの取り組みによって、顧客満足向上だけでなく、地域貢献や持続可能な地域社会の実現に向けた精力的な事業展開が期待される。

今後も計画達成に向けた支援を行う予定である。

#### 【共同店舗の接遇向上を目指して】

(組織新生推進事業にて支援)

陸前高田市の「高田松原商業開発協同組合」は、地域生活者の便益性の向上と地域商業の活性化を図ることを目的に平成9年に設立、その後高度貸金を導入して共同店舗建設に着手、「リアスコーストショッピングセンター リプル」としてオープン、設置面積7,178.36㎡を有する陸前高田市商業の中核店舗として営業している。本年12月には共同店舗オープン10周年を迎え、販促事業の充実等で効果的な集客を訴求している。

オープン以来地域生活者に支持される店舗であるために接客接遇は共同店舗にとって大きなテーマであった



リプル全景(組合ホームページより掲載)

が、共同店舗の性格上、組合員の温度差があることが以前より課題となっていた。組合から、全館の接遇レベルアップを図る手法について本会支援の要請があり、組織新生推進事業の特定プロジェクト枠での支援を実施することとなった。

従来、個々の従業員への接遇指導を実施してきたものの、従業員を取りまとめる店長等の責任者に目を向けることは無かったことから、店長等の責任者を対象にした接遇研修を実施、店舗毎の接遇の温度差解消を図るとともに、リーダーシップとコミュニケーション力向上を図ることで全館での接遇レベルアップを目指した。また、問題意識と管理者の使命について、問題解決の基本ステップを学ぶなど、自店舗の課題と解決法にまで及ぶ研修は、参加者にとって効果的な内容となった。今後も店舗運営の円滑化に向けた支援を行う予定である。

## 開運橋ライトアップ点灯式に出席

盛岡市駅前の開運橋120周年記念事業実行委員会（委員長：石田和徳 盛岡駅前商店街振興組合理事長）では、盛岡駅前にある開運橋の架橋120周年を記念するにあたり、記念事業として「開運橋ライトアップ点灯式」を開催、本会平澤専務理事が午後6時からの開催セレモニーに出席、商店街関係者及び地域住民挙げて盛岡駅前地区の活性化を図った。



点灯式で挨拶する石田理事長



点灯スイッチオン！

## 業務災害補償制度導入のお知らせ

本会では、組合員企業の経費節減等を進めるため、全国中小企業団体中央会で実施している「業務災害補償制度」の普及促進を図ることになった。この業務災害補償制度は、組合及び組合員の経営者、従業員の労働災害による死亡保険金やケガによる入院・通院費用、企業が負担する使用者賠償責任等を補償するもので、全国中央会が損害保険会社と提携して実施する団体保険制度である。団体保険契約方式により、全国規模のメリットを活かした低廉な保険料を実現している。制度の概要と特徴は以下のとおり。

- （概要）
1. 加入者：中央会の会員である組合及び組合員
  2. 被保険者：組合員企業の役員・従業員（パート、アルバイト等も対象）
  3. 補償内容：①傷害補償 → 業務災害や通勤災害に対する補償制度（入院・通院、死亡等）  
②使用者賠償 → 労働事故発生により、企業が負担する損害賠償責任を補償
  4. 保険料は全額損金処理が可能
- （特徴）
1. 団体契約のスケールメリットを生かした保険料水準（「団体割引」適用）
  2. 売上高をもとにした保険料設定
  3. 従業員の入れ替わり、人数の変動による手続きは不要

本件に関する問い合わせは、本会連携支援部 TEL：019-624-1363 まで。

## 定年引き上げ等に関する助成金

社団法人岩手県雇用開発協会では、少子高齢化の急速な進展に加え労働力人口の減少が見込まれる中で、働く意欲を有する高齢者が、長年にわたって培った知識と経験を活用し、年齢にかかわらず働き続けられる社会を実現することを目的とした各種助成金の支給を行っている。特に、60歳以上の高齢者を活用し地域への波及効果のある取り組みを実施した事業主に対して支給される「高齢者雇用モデル企業助成金（500万円上限、1/2補助）」の他、70歳以上までに働くことができる仕組み、または65歳以上まで働くことができる制度を導入し、職域の拡大、人事処遇制度の改善、高齢者を積極的に活用する事業主が計画の認定を受け、モデル性や地域における波及効果のある取組を実施した事業主に対し、当該取組に要した一定範囲の費用について支給される「中小企業定年引き上げ等奨励金（支給金額は変動有り）」等がある。

本件に関する問い合わせは、(社団)岩手県雇用開発協会 TEL：019-654-2081 まで。



## 知的財産に関する相談窓口を開設 ～発明協会～

社団法人発明協会では、本会等の中小企業支援機関と連携し「知的財産に関する相談窓口」を開設している。本稿では当相談事業の概要について紹介する。

あなたの会社の貴重な知的財産、活かしていますか？

### 知財に関する総合支援窓口 開設しました！！

課題解決型相談・コンサルティング事業 （特許庁委託事業（社）発明協会実施）

社団法人発明協会では中小企業支援機関と連携して、ワンストップ機能を強化した知的財産に関する相談窓口を開設しました。

ご相談は「無料」で「秘密厳守」ですので、安心して、お気軽にご利用ください。

ご相談の内容に応じた解決策を知財活用支援コーディネーターがご案内します。

#### ● 専門家派遣

適切な専門家が知財の活用方法をアドバイスします

#### ● 相談会の開催

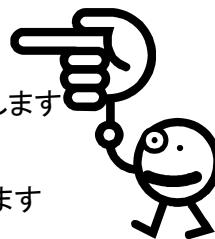
知財専門家が、権利取得に関する得る相談について指導・助言します

#### ● 支援策紹介・仲介

公的機関等が実施している支援策の紹介、手続方法を説明します

#### ● 電子出願支援

インターネット出願可能な端末を設置。操作方法も指導します



「知的財産(知財)」は自社の持っている技術・ノウハウやブランド(マーク・ネーミング)・製品デザイン等を経営の強みとして活かす手段の一つです。

特許・実用新案・意匠・商標等の権利を取得することで他社のモノマネを防止したり、ノウハウ管理をすることで製造ノウハウの流失を防止することが可能になる場合があります。

お気軽にご相談下さい。

そもそも、自社のどこに知的財産があるのかわからない・・・

知財を活用した事業展開を専門家に相談したい・・・

製造ノウハウの管理方法がわからない・・・



お問い合わせ先：(社)発明協会 岩手県支部

盛岡市飯岡新田3-35-2 岩手県工業技術センター2階

電話 0570-082100 (または019-636-0256)

事業の詳細は「特許ひらめき」HP：<http://www.hirameki.jiii.or.jp>



## ～世界から hello! (ハロー=英語でこんにちは)～

このコーナーは、岩手に縁のある外国人の方から、日本や岩手について思うことを自由に寄稿いただくコーナー。今回はCGアーティストのLamont Gilkey（ラモン・ギルキー）さん。

こんにちは。私はラモン ギルキーです。

家族とともに、アメリカから妻の故郷の盛岡に昨年の7月にやってきました。妻と2人の息子たちと、盛岡の玉山区好摩に住んでいます。いろいろな動物、静かな山や人々がとても気に入っています。

妻はずっと盛岡市玉山区好摩で生まれ育ち、私たちは2002年に出会い、翌年に結婚し、アメリカに移り住みました。子どもは2人とも岩手生まれです。家族を育てるのに、岩手は最適な場所だと感じています。学校は小規模で、人々は子どもの面倒をよくみます。子どもがここで育てば、生涯にわたる友人を作ることができるでしょう。アメリカに住んでいると、家族は新しい家や街にすぐに引越し、友だちとしてよく知る時間もありません。ここ好摩では、町はちょうど住み良く、どこに行っても安全で、人々は互いに目を配り助け合っています。

好摩はいまや私の新しい故郷で、ずっとここに住み続けたいと思っています。アメリカでは、ソニー・コンピュータエンタテインメント アメリカ等で、背景アーティストをしていました。プレイステーションの「NBA」、Xboxの「Hero」、ipad等向けの「Octapod」といったゲームの開発に携わりました。

私は、企業向けCGやアニメーションを作るCGアーティストです。ソニーで働くのは楽しみでした。人にソニーで働いているというのと、一日中ビデオゲームをしていると思うようですが、実際には全く反対です。職場に7時に行き、Eメールをチェックし、作ったり変更しなくてはならない項目はないか確認し、仕事の準備をします。そしてそれから、未完成の作品に着手します。できるだけ午前10時半までに終わるようにします。毎日ミーティングがあるからです。

ミーティングでは、プロジェクトに関することは何でも話し合います。ミーティングの後は各自仕事に戻り12時半頃にランチタイムになります。みんながリラックスして話せる時間です。昼食後、通常午後6時まで働きます。ときには17時間以上働くこともあります。そして、その後、家に帰りもう少し仕事をし、CGの勉強をします。フルタイムの仕事のあと、パートタイムの仕事として ima Lures とよばれる日本の会社の仕事をしていました。私の妻は、私の仕事の仕方はとても日本人的だといいます。とはいっても一日に24時間働くわけではありません。ゲームをするのが好きですし、家族と過ごしたり、スバルを運転したり修理したり、レースをするのが好きです。

CGやコンピューター関連の仕事をするのが、ここ岩手での私の目標です。私の夢は、岩手でCGやビデオゲームを作る小さな会社を持ち、人々がそのような仕事をするために家族と離れなくていいようにすることです。ここ盛岡や岩手には才能あふれる人たちがたくさんいます。

なお、私の作品は <http://www.cgbylg.com> で見ることができます。CGやゲーム用CGが好きな盛岡の人たちにもっと出会えることを楽しみにしています。



CGアーティストのLamont Gilkeyさん



ギルキーさんの作品 (www.cgbylg.com より掲載)

## ～ 会 員 情 報 ～

| 地域貢献組合に選定                                                                                                                                                                                 |                                                                                               | 青年部大会を開催                                                                                                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 協同組合江釣子ショッピングセンター（高橋祥元理事長）<br>水沢鋳物工業協同組合（及川敬理事長）                                                                                                                                          |                                                                                               | 岩手県中古自動車販売商工組合<br>（高橋保理事長）                                                                                     |
| 全国中央会では、地域経済の活性化に大きな貢献をしている組合を顕彰するため「地域活性化貢献組合啓発普及事業」を実施。本会推薦の2組合が地域貢献組合に選定。店舗等より回収された廃油をバイオ燃料にしショッピングバスを運行する(協)江釣子ショッピングセンターの取り組み、地域資源である工芸鋳物の海外市場開拓に成功した水沢鋳物工業(協)の取り組みについて来年1月、表彰が行われる。 |                                                                                               | 組合と同青年部では11月1日、雫石の「ホテル森の風」にて東北ブロック青年部大会及び経営者セミナーを開催、来賓等の多数の出席の下、基調講演実施の他、中古自動車販売業界の今後について活発な意見交換が行われるなど盛況を博した。 |
| 創立30周年記念式典を開催                                                                                                                                                                             | 地産地消の仕事人に選定                                                                                   | ライトアップで賑わい創出                                                                                                   |
| 北上金属工業協同組合<br>（谷村久興理事長）                                                                                                                                                                   | 協同組合産直センターひがしやま<br>（前田眞理事長）                                                                   | 花巻市末広町商店街振興組合<br>（伊藤善夫理事長）                                                                                     |
| 組合では、10月12日、ホテルシティプラザ北上にて創立30周年記念式典を開催した。当日は関係者多数の参加の下、盛大かつ厳粛のうちに式典は終了した。                                                                                                                 | 農林水産物の生産、加工、販売と消費を結ぶキーパーソンとして農林水産省が選定する地産地消の仕事人に、今年度本県で唯一、同組合の前田理事長が選定された。全国で42人が選定、活躍が期待される。 | 組合では、今年度の商店街実践活動事業の第2次事業に採択され、街路イルミネーションの実施の他、生演奏やクイズイベント等により賑わいある街づくりを演出し、期間中多くの来街者を期待している。                   |

## ～ Q &amp; A コーナー ～

組合等を運営する中で生じやすい法律や税務、労働等の諸問題について、Q & A形式で紹介。

## (質問)

「緊急議案の取扱について」…協同組合の総会で出席者から緊急議案を提案された場合の留意点

## (回答)

総会の議案は、招集通知書にあらかじめ記載された事項についてだけ議決することが原則であるが、定款で緊急議案を採用することができる旨を規定した場合には、あらかじめ通知のあった以外の事項（＝緊急議案）も議決することができる。この場合、**緊急議案の提案者およびその議決に参加できる者は、本人出席者に限られ、書面または代理人（委任状出席）により議決権を行使する者は除かれる。**

緊急議案の提案および議決方法については、定款で定められているが、殆どの協同組合では、緊急議案は、本人出席者の3分の2以上の同意を得た場合に限り提案できると規定されている。

また、その議決は、**本人出席者が総組合員の半数以上の場合に限り行うことができ、本人出席者の議決権の過半数で決する（普通議決事項）。**さらに、除名や役員のリコールなど、**事前に一定の手続きが必要な事項は、緊急議案による議決は許されない**ので注意されたい。

なお、定款の変更や解散など**特別議決を必要とする事項や役員選挙等の重要な案件は、緊急議案にはなじまない**ので、緊急議案による議決は極力避けるべきであろう。



## 岩手県最低賃金の改正（厚生労働省）

9月10日、平成22年度の地域別最低賃金の答申が取りまとめられ、全国加重平均額が730円となったことが厚生労働省から発表された。岩手県の地方最低賃金審議会ではこの答申を受け、改正された県の最低賃金時間額を**644円**と決定、前回からの引上げ額は13円となり、発効予定年月日を本年10月30日と発表した。本件に関する問い合わせは、岩手労働局 TEL：019-604-3001 または厚生労働省ホームページを参照(<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000000r64t.html>)のこと。

## ゼロエミッション推進事業の公募受付（岩手県庁）

岩手県では、県内の事業者等が、産業廃棄物等の再利用・再資源化等の推進に関する取り組みを行う際に補助を行う「岩手県産業・地域ゼロエミッション推進事業」の追加公募を実施すると発表した。追加公募対象事業は、(1)ゼロエミッション普及促進事業、(2)環境産業育成支援事業の2種類。公募の締切は平成23年1月31日(月)までとなっている。

本件に関する問い合わせは、岩手県環境生活部資源循環推進課 TEL：019-629-5380 または同課のホームページ(<http://www.pref.iwate.jp/view.rbz?cd=27867&id=0&pnp=14>)をご参照のこと。

## 労働局・労働基準監督署からのお知らせ（岩手労働局他）

次代の社会を担う子供が健やかに生まれ育成される環境の整備を図ることを目的とし、「次世代育成支援対策推進法」が昨年4月1日より施行されたことに伴い、従業員規模が「101～300人」までの企業については、平成23年4月1日より「一般事業主行動計画」の策定・届出が義務化される（現在は努力義務）。岩手労働局及び労働基準監督署では、当該計画策定について対象事業主に注意を促している。

なお岩手労働局では、10月1日より労働基準監督署内の課名を業務内容に沿った名称に変更している。今回の変更は名称のみで担当業務、受付窓口等の変更はない。変更の内容は以下のとおり。

| 旧課名 | 新課名（花巻署）        | 新課名（宮古署,釜石署,一関署,大船渡署,二戸署） |
|-----|-----------------|---------------------------|
| 第1課 | 監督課（監督及び庶務業務担当） | 監督課（監督及び庶務業務担当）           |
| 第2課 | 安全衛生課（安全衛生業務担当） | 労災・安衛課（労災及び安全衛生業務担当）      |
| 第3課 | 労災課（労災業務担当）     |                           |

## 『ネクサス』新春号 年賀広告を募集中！

本会では、会員組合・組合員の皆様からの「年賀広告」を募集中です。年賀広告は本誌ネクサスの平成23年新春号（平成23年1月発行）に掲載いたします。「誌上名刺交換の場」として本誌を是非ご活用下さい。詳細は次のとおりです。

|          |       |             |     |            |       |
|----------|-------|-------------|-----|------------|-------|
| □ 広告スペース | 縦長のコマ | (A4・1/4サイズ) | (縦) | 11 cm (横)  | 8 cm  |
|          | 横長のコマ | (A4・1/4サイズ) | (縦) | 5.5 cm (横) | 16 cm |
|          | 2コマ   | (A4・1/2サイズ) | (縦) | 11 cm (横)  | 16 cm |
|          | 4コマ   | (A4・1ページ)   | (縦) | 22 cm (横)  | 16 cm |

- 広告掲載料 1コマ 10,000円、1ページの場合、30,000円
- 広告の体裁 横書き、縦書きどちらでも可。コマの向きも横長、縦長どちらでも可
- 申込み締切 平成22年12月10日(金)まで
- 問い合わせ 岩手県中小企業団体中央会 市場開発部 渡辺

TEL：019-624-1363 FAX：019-624-1266 e-mail：yasutaka-w@ginga.or.jp

## 中小企業ワン・ストップ・サービスデイの開催（中小企業庁）

中小企業庁では、9月10日に「新成長戦略実現に向けた3段階の経済対策」が閣議決定されたことを受け、関係機関の協力の下、利用者が資金繰りから新たな販路づくり、知的財産・雇用調整助成金まで、一つの窓口で様々な相談に応じる「ワンストップ・サービス・デイ」を、10月から各都道府県で開催している。

本県では11月29日（月）に、盛岡商工会議所（盛岡市清水町14-12）で実施する。当日は、金融機関の融資・補償担当者、経営コンサルタント、弁理士、JETRO（日本貿易振興機構）の職員、行政・中小企業支援機関の職員等が相談に応じる。

本件に関する問い合わせは、中小企業庁 参事官室 TEL：03-3501-1768 または中小企業庁のホームページ（<http://www.chusho.meti.go.jp/soudan/2010/1009240neStopServiceDay.htm>）を参照のこと。

## 環境ビジネス支援事業について（東北経済産業局）

東北経済産業局では、今後の高い成長が期待される「環境ビジネス」分野への新しい支援施策を展開している。具体的には、東北地域の強みとも言える非鉄金属リサイクル分野の取組や、環境にやさしい製品・サービスを提供する環境ビジネスの創出・育成を図るため、下記の内容で実施している。

- （1）メールマガジンによる環境ビジネスに関する施策情報等の提供
- （2）環境ビジネスや環境経営等の専門家の派遣
- （3）環境ビジネスセミナーの開催などにより地域企業の「環境ビジネス」への取組を支援

本件に関する問い合わせは、東北経済産業局循環型産業振興課 TEL：022-221-4930 または東北経済産業局のホームページ（[http://www.tohoku.meti.go.jp/s\\_kan\\_ri/topics/pdf/100824business.pdf](http://www.tohoku.meti.go.jp/s_kan_ri/topics/pdf/100824business.pdf)）を参照のこと。

## 6次産業ワンストップ相談窓口を開設（東北農政局）

東北農政局では、農林漁業者をはじめとした6次産業化に取り組む意欲を持つ事業者等の相談に応じ、きめ細かなサポートを行うため、10月1日に「6次産業化の推進に関するワンストップ総合受付窓口」を、東北農政局生産経営流通部食品課内に設置した。この事業は、農山漁村が人口減少や高齢化の進行等により活力が低下している中、農林水産物、バイオマスなどの資源を有効に活用し、地域ビジネスの展開や新産業の創出を図ることを通じて、雇用の確保と所得の増大を図るなどの「農山漁村の6次産業化」を推進するため設置されるものである。

本件に関する問い合わせは、東北農政局生産経営流通部食品課 TEL：022-263-1111（内線 4336）または東北農政局ホームページ（<http://www.maff.go.jp/tohoku/press/seisan/syokuhin/101001.html>）を参照のこと。

## 「ひまわりホットダイヤル」に関するお知らせ（日本弁護士連合会）

日本弁護士連合会中小企業法律支援センター（ひまわり中小企業センター）は、日本弁護士連合会（日弁連）が、中小企業に対する弁護士の法的サービスの提供を組織的かつ全国的に推進するために設置した組織である。本センターでは、中小企業の法的課題解決支援のため、全国共通専用ダイヤル（ひまわりほっとダイヤル）を4月1日から設け弁護士紹介するサービスを実施しているが、初回相談の30分間は相談料が無料となるサービスを平成23年3月31日まで延長する措置を発表した。

本件に関する問い合わせは、ひまわり中小企業センター TEL：03-3580-9981 または同センターのホームページ（<http://www.nichibenren.or.jp/ja/sme/index.html>）を参照のこと。

相談申込先：0570-001-240 受付時間 月～金の午前10時から午後4時（午後12時から1時を除く）

## 景況は引続き警戒が必要(平成 22 年 9 月)

### 〈全体の概要〉

9 月は猛暑が中旬まで続き秋物商品の動きが鈍かった。また、機械金属関連業種の回復に支えられた景況改善の動きは悪化傾向に転じ、業種間にも依然大きな格差がある。

中小企業の景況は、内需低迷が続く中、販売価格の低下と原材料価格の上昇、エコカー補助金終了による需要の反動減に加え、円高の悪影響など懸念材料が多く、引き続き先行き警戒が必要。

### 〈主な業界及び地域組合等の動向〉

#### ◆ 漬物製造業

猛暑が続いたが、中旬すぎからの気温の変化に品揃えの調整が間に合わず売上が減少。

#### ◆ 家具・装備品製造業

関東地区の間屋の活動が弱体化し、売上が減少。

#### ◆ 一般製材業

輸入材の入荷減少と国産材使用による優遇制度利用により売上高が一時的に増加したが、住宅着工数の増加には結びついていない。

#### ◆ 鋳鉄铸件製造業

円高により海外向け機械铸件部品生産量の伸びは止まる。一方国内の公共工事用部品はわずかながら増加。また、尖閣諸島問題で中国向け南部鉄瓶の注文は期待したほど伸びず。

#### ◆ 一般機械器具製造業

超短納期。生産計画が立たず先行き不透明である。

#### ◆ 家庭用機械器具小売業

視聴可能エリアが拡大、地デジTVの需要が増加したため販売台数増加。他商品は足踏み状態。

#### ◆ 各種商品小売業

売上高、来店客数共に減少、消費環境は非常に悪い状況である。

#### ◆ 酒・調味料小売業

ビールは若干伸びたが、酒類全体が厳しい状況。

#### ◆ 野菜・果実小売業

記録的な猛暑で入荷減少と単価高。品薄状態続く。

#### ◆ 食肉小売業

夏の猛暑のあおりで野菜高値の状態、関連して食肉の売上も一段と厳しいものとなっている。

#### ◆ 自転車小売業

安価の自転車購入が多く、専門店が苦戦している。

#### ◆ 商店街（久慈市・一関市）

温暖化により秋物商戦不調、地元商店街での消費は低迷している。

#### ◆ 自動車整備業

猛暑の影響が仕事量の増大につながった。

#### ◆ 旅行業

日帰旅行が増加、低価格傾向が続いている。

#### ◆ 板金工事業

着工件数が増えたが大手メーカーの物件、地元の業者は足踏み状態である。

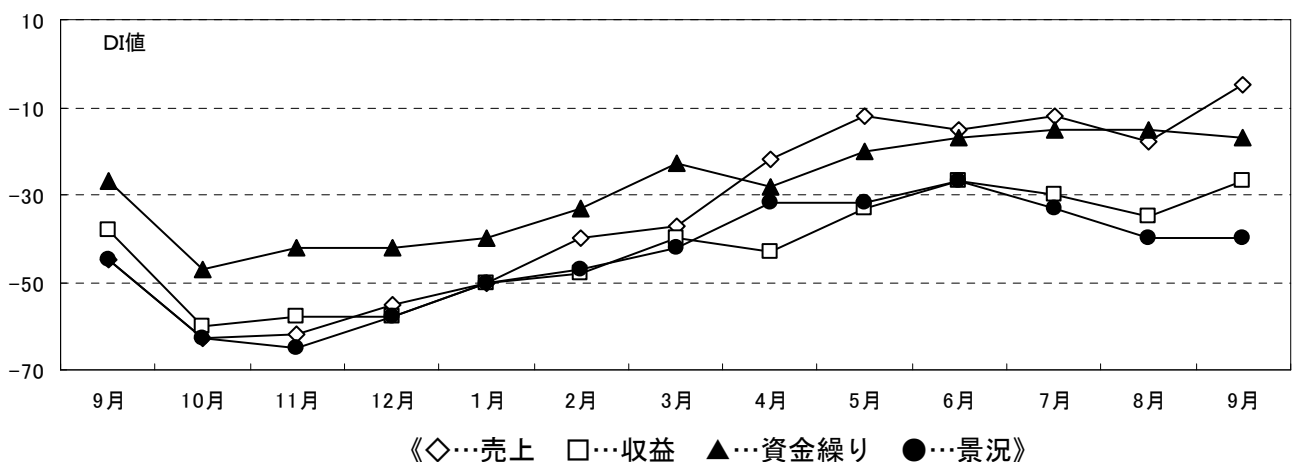
#### ◆ 建設業

公共工事に係る補助金の減額により、公告件数が減少し、同業者の入札競争が厳しい状況となっている。また、従業員が過剰傾向にある。

#### ◆ 一般貨物自動車運送業

運賃改定により増収ではあるが、天候に左右されるので楽観視はできない。

### ● 売上、収益、資金繰り、景況の各指標前年同月比D I の推移グラフ（H21 年 9 月～H22 年 9 月）●





## 中央会ゴルフコンペを開催、結果の発表

本会主催の「中央会ゴルフコンペ」は、10月16日(土)、岩手町沼宮内のローズランドカントリークラブにて会員組合及び関係機関等の役職員17名の参加により開催。天候にも恵まれ絶好のコンディションの中での開催であり、参加者は、多忙な毎日から解放され心身のリフレッシュと親睦を深められた様子であった。

順位結果は以下のとおり。

|        |      |                   |
|--------|------|-------------------|
| 優勝     | 阿部典夫 | (岩手県中小企業団体中央会副会長) |
| 準優勝    | 高松則行 | (盛岡市建設業協同組合元事務局長) |
| 第3位    | 中田専市 | (岩手県採石工業組合副理事長)   |
| ニアピン賞  | 菊地 昭 | (協同組合トラコム水沢監事)    |
| 商工中金賞  | 阿部龍也 | (岩手日報社顧問)         |
| バーディー賞 | 工藤清博 | (盛岡青果商業協同組合理事長)   |
| ドラコン賞  | 豊岡卓司 | (岩手県商店街振興組合連合会会長) |



## 【お願い】 組合決算書等の本会への提出にご協力ください

組合では、通常総会終了後の一定期間内に、所管行政庁への決算書等の届出義務がありますが、その際、本会にも決算書及び通常総会議事録(写しで可)等の提出についてご協力をお願いいたします。

なお、頂戴した決算書等は、本会支援の際必要とする組合情報の整備の他、組合表彰等への貴重な情報源として活用しております。

## ◆主要日誌◆ (10月1日～ 10月31日)

### ◎中央会主催事業

- 10/ 1 農商工連携研修会 (第13回)
- 10/ 2 農商工連携研修会 (第14回)
- 10/ 6 農商工連携研修会 (第15回)
- 10/ 7 農商工連携研修会 (第16回)
- 10/ 8 農商工連携研修会 (第17回)
- 10/14 ウルトラ D 大船渡(～10/15)
- 10/15 ウルトラ D 宮古(～10/16)
- 10/16 中央会ゴルフコンペ  
農商工連携研修会実地研修 (第2回)
- 10/19 共同店舗研修会  
平泉売上向上実践塾 (第3回) (～10/20)
- 10/21 農商工連携研修会実践講座 (第1回)
- 10/22 農商工連携研修会実践講座 (第2回)
- 10/26 就職応援プロジェクト公募説明会
- 10/28 農商工連携研修会実践講座 (第3回)
- 10/29 農商工連携研修会実践講座 (第4回)

### ◎関係機関・団体主催行事への出席等

- 10/ 1 産業別最低賃金専門部会  
ブロック組合士協議会研修交流会及び会長会議

- 10/ 2 開運橋120周年記念事業実行委員会
- 10/ 5 開運橋120周年記念事業実行委員会
- 10/ 6 岩手県ベンチャー企業等支援ネットワーク連絡会議
- 10/ 7 北海道・東北ブロック中央会会長会議(～10/8)
- 10/ 8 いわてサポーターネットワーク会議
- 10/12 東北地区商店街振興連絡会議
- 10/13 岩手新卒者就職応援本部会議  
官公需適格組合全国研修会(～10/15)
- 10/14 いわてデスティネーションキャンペーン推進協議会設立準備委員会
- 10/18 開運橋120周年記念事業実行委員会
- 10/19 ブロック共済事業研究会
- 10/20 中小企業応援センター事業第2回連絡協議会
- 10/22 開運橋120周年記念ライトアップ点灯式  
盛岡市新事業創出支援センター運営委員会
- 10/23 開運橋120周年記念式典
- 10/26 岩手県商工会連合会50周年記念式典
- 10/27 最低賃金審議会、農商工連携セミナー
- 10/28 全国大会特別委員会  
岩手県空港利用促進協議会幹事会  
都道府県中央会事務局代表者会議